



2021年度よりニュースレターを発行しています。  
スタッフ一丸となり、よりよい情報提供や診療を  
心がけていきたいと思っております。

※過去のは当院ホームページに掲載しております

みなさま、年末年始はいかがお過ごしでしたか？ 気が付けば令和8年…年号が変わったのはほんの少し前のように思っていました。人生そう甘くないですが、うまくいくことが多い年になれば良いなと思います。

さて先日、患者さんの人生の最終段階をどのように考えていくかという『本人の意向を尊重した意思決定のための研修会』に参加しました。当院からは、私のほかに緩和ケアチームの看護師2名とソーシャルワーカー1名の計4名が、大阪府内の病院に勤務する様々な職種の方々と一緒に、朝から夕方まで、一人の仮想症例の患者さんのアドバンス・ケア・プランニング（人生会議：ACP）を考えました。残りの人生をどう過ごしたいかは患者さん一人ひとりで異なるためマニュアルはなく、人生観や価値観をできる限り把握するには、時間をかけて話し合うこと、またそれを家族などと共有しておくことがとても大切であると感じました。

そもそも、人生の最期を想像することは、縁起でもないことだし、死への恐怖を伴うことがあります。

## ～もしもの時のACPを考えるために～

※状況に応じて気持ちは変化するため、いつでも変更できることを知っておくこと  
※家族だけでなく、親しい友人等、自分の気持ちを伝えたい人と情報共有することが大切

### 【例】

- ・最期に過ごしたい場所は？ 自宅or病院・施設
- ・何を大切に生きたいのか？  
ex.) 痛いことはなるべくないようにして穏やかに過ごしたい  
ex.) 可能な限りできる治療は受けたい
- ・これだけは絶対嫌なことは？
- ・救命処置は希望するか？



具体的でなくて大丈夫です。  
自分らしく生きるには？という  
視点で考えてみてください。

ですが、いつかはその時がやってくることも事実です。ACPをマイナスにとらえるのではなく、最後まで自分らしく生きるためにどう過ごしたいのか、どのような治療を受けたいのかを考える重要なプロセスだと思えます。

このACPを考えたり、話し合うタイミングは難しいですが、日常会話のひとつとして大切な人と一緒に話し合ってください、もしもの時は患者さんの意思を反映させた医療・ケアができればと思います。(田村)



今回はメディカルソーシャルワーカー（MSW）についてご紹介します！



## MSWの役割とは？



当院のMSW数：16人（診療科ごとに担当が決まっています）

患者さんやご家族が、治療を通して抱える問題に対して、**社会福祉の視点**から一緒に問題解決をしていきます。

### 【介入事例】在宅支援を利用しながら外来通院されている患者さん

高齢のご夫婦世帯で、どちらも認知機能の低下がみられていた患者さん。外来予約を忘れていたり、お薬を飲み忘れることもしばしば。離れて暮らすお子さん方も困っておられ、主治医からMSWに相談がありました。皮膚トラブルも出現し、夫婦お二人のみでは日常生活も困難となり、地域の訪問看護師さん、ケアマネさんにご相談しサポート頂く調整を致しました。  
相談当初は紆余曲折ありましたが、現在は大きなトラブルなく通院継続出来ておられます。



清水MSW

安松MSW

私たちが乳腺外科を担当しています！  
ご病気が分かってから治療を続けていく中で、心理的にも、経済的にも様々なご不安が出てくるかと思えます。  
患者さんが、“その人らしく”生活が出来るように、サポート出来るよう努めていますので、お困りごとがありましたら、是非お気軽にご相談ください。